

臨床工学 関東臨工

# 東京西徳洲会病院 最優秀演題を受賞

徳洲会グループの臨床工学部会関東ブロックは12月6日、千葉西総合病院で第5回関東臨床工学セミナーを開催した。19病院から過去最多の145人が参加。発表演題数は34に上り、東京西徳洲会病院からの発表が最優秀演題、優秀演題に決定。今回初めてシンポジウムを行ったり、一般演題では会場を複数設けて参加者が移動したりするなど、より学会に近いスタイルを試みた。

## 過去最多145人が参加

セミナーは北関東ブロックと南関東ブロックの病院に勤務する臨床工学技士（ME）を対象に、年に1回開催。目的は業務改善のための情報共有、学会活動に対する啓発。今回は千葉西総合病院がホスト役を努め、古河病院（茨城県）、羽生総合病院（埼玉県）、皆野病院（同）、千葉徳洲会



年々、参加者が増え活気づく関東臨床工学セミナー

午前中に行ったシンポジウムでは、「透析」「医療機器」をテーマに2セッションを実施。各セッションで5、6演題の発表を行った後、ディスカッションを開いた。午後は会場を二分し、一般演題を2セッションずつ実施。多様なテーマで23題の発表を行った。このほか、ランチョン

セミナーとして、千葉西病院の金子健二・ME室副主任が自院を紹介、副部長を務める湘南鎌倉病院の高室昌司・臨床工学技士長が「抄録の書き方」をテーマに講演した。全プログラム終了後は懇親会を開き、表彰式を挙げる。参加者による投票と実行委員らの協議の結果、最優秀演題に「透析に対する臨床工学技士の関わり」（徳吉光示・



シンポジウムを行うなど、より学会に近いスタイルに

の対応」（石丸泰史・皆野病院臨床工学科副主任）を決定。徳吉MEの発表は「機器の保守点検・水質管理・材料管理」「シヤント穿刺・シヤント管理」「新人教育」「災害対策」——の4つの視点から実践している透析室業務での工夫を紹介した。また志賀正直・静岡病院臨床工学副技士長に北関東ブロック長賞、佐藤大之・鎌倉谷病院臨床工学科副主任に南関東ブロック長賞を贈呈した。

大会長を務めた林貞治・千葉西病院ME室長は手応えを示しながらも「とくにシンポジウムは時間が足りませんでした。次回行うのであれば充実させる必要があるでしょう」と課題を指摘。さらに「今回の演題募集でも抄録の文字数や提出期限が守られないケースが見受けられました。学会活動への啓発が目的のひとつですから、改善していく余地があります」と加えた。

も恵まれたことから、今年例年の倍以上の約600人が来場。とくに、にぎわいを見せたのが「無料健康チェック」だ。頸動脈エコー検査、骨密度測定、看護相談、栄養相談など実施したところ、自身の健康状態に対する関心の高さから長蛇の列となった。特設ステージでは、ミュージカルやご当地社会貢献アイドルのパフォーマンス、千葉県のゆるキャラ「チーバくん」の写真撮影会もあり、子どもたちが楽しむ姿も見られた。

## 健徳 老千 アニマルセラピー導入

# 脳の活性化など効果



犬との触れ合いを楽しんだ入所者さんたち

介護老人保健施設千葉徳洲苑は入所者の方々を対象にアニマルセラピーを実施した。動物との触れ合いを通じて喜びや癒やしを感じてもらったり、機能回復につなげたりするのが狙い。

同苑はアニマルセラピー・グレースという団体の協力の下、同セラピーを導入した。「犬と見つめ合ったり触れ合ったりすると、脳が活性化するなど良い効果があると聞き、取り入れました」（同苑の近藤由香里・看護師長）。2カ月に一度の頻度で犬との触れ合いやゲームを実施したり、月2回、犬と一緒に歩行訓練などのリハビリテーションを行ったり取り組む取り組みをスタートした。

同団体の切替輝美代表は「血圧の安定や発語の増加、表情が豊かになるなどの効果がわかっていきます。幸せホルモンと呼ばれるオキシトシンの分泌が促され心が癒やされることも明らかになっています」と説明する。取材に訪れた日は同団体の会員とともにスタン

ダードブードルやバゲなどセラピードッグ6頭が来苑。またこの日は、人と動物との触れ合いによる相互作用を研究し、その成果を生かした活動などに取り組む一般財団法人J・H・A・N・B・Sの加藤元理事長が見学に訪れた。切替代表はこの同法人の千葉県支部長も務める。

同苑2階の多目的スペースで、車いすに乗った約30人の入所者さんらが輪の形に並び、一頭ずつ順番に抱きかかえたり、大型犬の場合は頭や背中をなでたりして触れ合いの時間を過ごした。「かわいい」「大きいワンちゃんね」「何という種類の犬ですか」などと目を

細めて質問する姿がこちらから見られた。このあと輪くぐりなどのゲームで楽しんだ。切替代表によるとアニマルセラピーの実施を希望する高齢者施設は増加傾向。一方で活動できるセラピードッグが減っていることから、グレースではセラピードッグやボランティアを募集中だという。同苑は今後も継続してアニマルセラピーに取り組んでいく考えだ。

模擬店などの収益金（10万円）は福祉活動に役立てるため阿曾巖雄事務長が後日、館山市社会福祉協議会に手渡した。来年は節目の125周年であり、医療講演を中心とした催事を今から計画中だ。地域医療連携広報室の廣澤大輔職員は、「地域への感謝の気持ち」を伝えたいと思います」と、意欲を燃やしている。



にぎわいを見せる模擬店

## 館山病院 健康チエック大人気 病院祭に例年倍以上参加

館山病院（千葉県）は「広げよう地域の笑顔と健康を」をスローガンに創立124周年記念の病院祭を開催した。多彩な催し物を準備し、天候に

# 生命の尊重と平等を重んじ創造的な看護の実践と 社会に貢献できる人材の育成を目指します

「杜の都・仙台」の豊かな自然環境のなかで、ともに看護を学びませんか？  
本校では、1人の教員が各学年数人の学生を受けもって、学習面や生活面の問題が解決できるよう指導する「グループ指導体制」を敷き、学生生活を支援しています。領域別の実習室（4室）があり、自己学習や教員による個別指導など技術教育に力を入れています。

## 平成28年度 看護学生募集

### 医療法人 徳洲会 仙台徳洲看護専門学校

〒982-0252 宮城県仙台市太白区茂庭台1-3-4 TEL: 022-281-3110  
Email: sentokukango@sd-kango.jp ホームページ: http://www.sd-kango.jp/

募集人員	50人(推薦約20人を含む)
出願期間	平成28年1月 4日(月)~8日(金)
第一次試験	平成28年1月20日(水)
第二次試験	平成28年2月 3日(水)

第一次試験	筆記試験科目 ①コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ・Ⅱ ②国語総合(古文・漢文除く) ③理科(生物基礎または化学基礎から選択) ④数学Ⅰ・A (一次試験合格者のみ)
第二次試験	①聞き取りテスト ②面接試験

お問い合わせ、資料請求は「入試係」まで。資料請求方法、募集要項はホームページからもご覧いただけます。

